

今月の泰明 9月

リオ五輪難民選手団競泳選手ユスラさん来校

9月1日（金）リオデジャネイロ五輪難民選手団であり、シリアの競泳選手であるユスラ・マルディニさんが本校に訪れました。真っ青なワンピースに身を包み、くったくのない笑顔で子どもたちに手を振りながら体育館に登場すると、子どもたちも拍手でユスラさんを迎えました。

ユスラさんは、4月に国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の史上最年少の親善大使に任命されました。難民問題への理解を深めてもらおうと、来日して以来この日までの5日間、日本の人々と交流してきたそうです。そして、世界の多くの人々が、難民についてあまり理解していないことを実感したそうです。生きるために、家を捨てて逃げなければならないことや、新しい生活を始めなければならないことの困難を話すユスラさんに、子どもたちも皆、興味深く、真剣なまなざしを向けていました。特に、2015年8月の内戦下のシリアからヨーロッパへ逃れる際、トルコからギリシャに向かう海上で、定員オーバーの船が故障し、同乗していた姉たち3人と海に飛び込み、約3時間にわたって船を押しながら泳ぐという生死の境に直面した話には、子どもたちも驚嘆しきりでした。

そんなユスラさんは、この日、「夢を絶対に諦めないで。」というメッセージを子どもたちに強く語りかけてくれました。難民も私たちと同じ普通の人間であること、難民であっても一人一人夢を持っているということを伝えるユスラさんに、子どもたちは言葉の重みを感じながら聞き入っている様子でした。

ユスラさんは来る東京五輪に出場するために、トレーニングをしているそうです。深刻化する難民問題と平和の尊さを伝えるという使命を胸に抱き、競泳選手としての夢をもつユスラさんを、子どもたちは精一杯の拍手でお見送りしました。子どもたちにとって有意義な一日となりました。

